

Søren Aggerholm

デンマーク建築研究所,  
SBI Denmark

[www.buildingsplatform.eu](http://www.buildingsplatform.eu)

## 建物のエネルギー性能にかかわる欧州指令 (EPBD)の実施をサポートする5つの新たな SAVE プロジェクト

本誌の主要目的は、2006年後半と2007年初期に開始された5つの新しいSAVEプロジェクトにおける当初の要旨を伝えることである。

5つの新たなプロジェクトは加盟国及び建物機関による、「建物のエネルギー性能にかかわる欧州指令(以下 EPBD)」の効率的な実施を実際に支援するための助けとなるだろう。本誌はまたSAVEプロジェクトに着目した全てのEPBDの要旨を含んでいる。以前にSAVEと呼ばれた従来のプロジェクトは情報誌のP1に記載されている。

### 1 > 新たなSAVEプロジェクト

加盟国及び建物機関において、EPBDの実用的な実施に対する直接的なサポートを提供する5つの新たなSAVEプロジェクトは、ちょうど2006年後半と2007年初期に開始している。

5つのプロジェクトは：

- > **CHECK IT OUT!** 学校のエネルギー性能をチェックし改良すること及び、成功事例を広める
- > **BuildingEQ** 欧州建物エネルギー性能の指令 Directive に基づいたコミッショニング及びエネルギー管理
- > **IMPLEMENT** 建物のエネルギー効率を促進させるための EC 政策の一環としての EPBD
- > **SENTRO** 建物のエネルギー性能にかかわる指令 Directive 下における、新しい建築市場導入分野での持続可能エネルギーシステム実現可能性調査
- > **BOILEFF** ボイラーエネルギー効率の改良

このプロジェクトにおける目的の追加説明を次ページの表1に示す。

欧州連合 (EU) において、建物はエネルギー使用の約40%の割合を占めており、欧州インテリジェントエネルギープログラム (IEE) のSAVE計画

における活動が、この分野の政策支持活動を通して建物エネルギーの合理的使用に対する影響を与えることを目標としている。特に、これらの活動は機能的な認証市場の構築を促進させるのと同様に、適切な手段の発達を通して EPBD の実施をサポートすることに重点的に取り組んでいる。2007 年 1 月現在、IEE プログラムの“建物における成功の拡大”という主要活動において、16 のプロジェクトが EPBD の急速な普及を直接サポートしている。さらに 5 つの新たなプロジェクトは、IEE の SAVE 活動及び EPBD の共同活動、そして建物枠組みを介した EU による EPBD 実施のサポートをもたらし、近年では約 1250 万€を生み出している。

当該情報誌の最後のページにある表 2 は、EPBD が着目した各 SAVE プロジェクトと EPBD における各条項との関連を見るのに役立つものである。そのリストには 5 つの新たな SAVE プロジェクトと既に実施中である SAVE プロジェクトの両方が盛り込んである。EPLabel, E-TOOL, IMPACT 及び AUDITAC のこれら 4 プロジェクトにおける最終結果は 2007 年春に示されるだろう。

SAVE 計画の詳細は以下のページで入手できる：

[http://ec.europa.eu/energy/intelligent/index\\_en.html](http://ec.europa.eu/energy/intelligent/index_en.html)

欧州で 2003-2006 年に設置されているインテリジェントエネルギー枠組みに関する欧州委員会によって EPBD 建物枠組みが開始された。それはエネルギー・運輸総局に変わり INIVE EEIG ([www.inive.org](http://www.inive.org))によって管理されている。

この出版物の免責事項及び著作権情報は以下を参照する；  
[http://www.buildingsplatform.eu/legal\\_notices\\_en.html](http://www.buildingsplatform.eu/legal_notices_en.html)

©欧州委員会, 2007  
出典が承認されているならば再販は公認される。

## 付録

表 1. 2007 年初期に開始される EPBD の効率的な実施を促進するための新たな SAVE プロジェクト

**CHECK IT OUT!** 学校のエネルギー性能をチェックし改善するとともに、成功事例を普及させる

Check it out!の目的は以下のものである:

- ▶ 省エネルギー対策の実施及びエネルギー性能改善のための学校改修を行う関係者を支援すること;
- ▶ 学校建築における上記の対策のために、一般的な成功事例を支援するモデルを発展させること;
- ▶ 学校と地域、または家のエネルギー問題に関わる生徒のために、共通の教育手法を作成すること;
- ▶ この教育プログラムに関わっている欧州全土の学校における、省エネルギー取り組みの成功事例を普及させること

計画には下記の目的が含まれている:

- ▶ 省エネルギー対策を実施する学校を支援し、異なる地域における成功事例支援モデルの収集を促進する各状態の試算段階と試験的な行動
- ▶ 関連する活動のための社会保障を強化し、省エネルギーに関わる建物ユーザーとして生徒が参加していることを確認しつつ、省エネルギーに関わる教育プログラムを作成すること
- ▶ 発展させた成功事例支援モデルの長所を生かす学校建築の運用及び改修を、欧州各国及び地域の各レベルに奨励すること

**Co-ordinator:** オランダの Ecofys 社

参加国: オランダ, ドイツ, スペイン, ブルガリア, ハンガリー

**SENTRO** 新築建物における持続可能エネルギーシステム – 建物のエネルギー性能の指令 Directive 下における実現可能性調査の市場導入

EPBD の 5 条の下 1000m<sup>2</sup>以上の新築建物において、全ての加盟国には検討している代替システムが国内建築基準の範囲内であることを保障する義務がある。関連する実現可能性調査が EU 各国で非常に異なった方法で実施されているようであり、そのようなシステムの利用が増加することによる効果は、各国でかなり異なると予想される。それゆえに EPBD の下でこれら実現可能性調査のための‘最適な’取り組みを開発するのに絶好の時であり、またそれは、共通の作成過程における実現可能性調査を組み込んだ取り組みであるため、お互いに何を学ぶべきかを各国が知るための絶好の時である。

The SENTRO アクションは以下の取り組みの普及を目標としている

- ▶ 共通の建物プロセスにおける実現可能性調査を効果的に組み込むために、ツール(例: 世界共通の要件チェックリスト, ハンドブック, フローチャート, など)を開発すること;
- ▶ 参加国である 7 カ国の市場を通して、これらのツールをテストすること; そして、最終的に、
- ▶ 実現可能性調査の‘最適な’実施を行う、異なるグループのためのコースを作ること

**Co-ordinator:** オランダの Ecofys 社

参加国: オランダ, シエラレオネ, デンマーク, リトアニア, ポーランド, フランス, スウェーデン

## IMPLEMENT – EPBD の実施中

住宅のエネルギー効率を改善させるための欧州政策の一部である EPBD は、巨大な省エネルギーの可能性について提案している。しかしながら、現在の住宅部門の関係者間の意識は、特に EPBD の実現性及び住宅のエネルギー認証に関して低くなっている。さらに具体的に言うと、個人とオーナー組合、もしくは住宅協会といった家の所有者は、エネルギー認定書を使用するためのツール及び知識を持っておらず、EPBD の効果が不安定となっている。

欧州の 7 つの参加国におけるセールス・キャンペーン及び情報を通じて、そして、彼らの住居を改善するためのエネルギー認証の可能性にかかわる情報を住宅所有者が得ることによって、この問題を避けることが IMPLEMENT の目的である。ここで、適切な資金調達に関する情報及び省エネルギー対策の実施法が専門家のネットワークによって提供される。

IMPLEMENT は EPBD の地球規模での目標を、健康、快適性、光熱費のような日常的な問題の対処法へと置き換える。適切な資金調達メカニズムと省エネ対策実施の情報は専門化のネットワークによって提供される。EPBD がいかに省エネルギーとして現れるか、EPBD によっていかに住宅所有者が情報を入手しエネルギー効率改修へと向かうかに関する事例を列挙する。

**Co-ordinator:** フローニンゲン州

参加国: オランダ, デンマーク, チェコ, ドイツ, ハンガリー, イタリア, エストニア

**BuildingEQ** 欧州 EPBD に基づいたコミショニング及びエネルギー管理

EPBD-cx プロジェクトは、認証プロセスと建物性能の最適化やコミショニングとを関連付けることによって、EPBD 実施の強化を目指している。プロジェクトの範囲内において、EPBD に対応した認証プロセスより集められたデータを用いた国外建物の最適化及び継続コミショニングのために用いられる手法及びツールが開発されるだろう。建物事例に関連する実現可能性及び費用効果が強調される。

今日、認証がされた後には、通常建物性能の継続的な評価は行われない。他方、建物の高エネルギー性能の持続が前提条件としてみなされているため、継続的なコミショニング過程は行われる。その実用的な実施は（特に既存建物の）データ不足及び費用面によって制約されてしまう。

このプロジェクトの目的は建物全体レベルでの建物評価のためのツールの開発と同様に、資金及び計測データの最低要件を明確にすることである。そのツールは実証建築の一群に適用されるだろう。

**Co-ordinator:** フランホーファー, ドイツ

参加国: ドイツ, スウェーデン, イタリア, フィンランド

## BOILEFF

暖房ボイラーはすでに技術的に最高の段階に到達しているため、ボイラーの設置は効率を向上させる機会である。このプロジェクトはボイラー設備の品質の向上を目指しており、それ故に専門家教育の取り組みを超えた二つの戦略を展開することによりによってボイラー性能を向上させることを目指している: 第一の取り組みは「高品質設備宣言 (DHQUI)」と呼ばれ、顧客との契約に盛り込まれている優れたボイラー設備のための品質基準を含んでいる。第二の取り組みは「性能品質の保証 (GPQU)」と呼ばれ、ボイラーが一定の年間エネルギー使用効率を達成することを設置者が保証している。二つの取り組みはともに現場で検証されている。

実地試験結果の評価は技術面から構成され、“市場”における成功の知覚評価は主にボイラーメーカーと同様に、参加する設置者及び最終消費者へのインタビューを基礎としている。その評価結果は、DHQUI 及び GPQU 計画の改善、及びふたつの取り組みの市場へのさらなる浸透に関わる総括をもたらしている。

そのプロジェクトの予測される結果は:

- ▶ ボイラーの近代化に対する信頼性の増加と、それによってボイラーの近代化率を高くする; より最適な寸法の新しいボイラー;
- ▶ 高く効率的な技術使用の増加: 圧縮ボイラー及び循環ポンプ;
- ▶ 設備業界における品質規格の市場導入;
- ▶ 長期的に見ると大抵の場合最も廉価な提案が最も良い提案ではないため、最も廉価な提案に変わって最も良い提案を採用するような市場が増えること

**Co-ordinator:** オーストリアエネルギー省, オーストリア

**参加国:** オーストリア, ドイツ, スペイン, ハンガリー

表 2. EPBD が着目した各 SAVE プロジェクトと EPBD 条項との関連を見るのに役立つ重要項目の概要。既存の SAVE プロジェクトと簡潔な説明の全ての題目については当該情報誌の P01 に記載する。

EPBD 条項	3 条. 手順の適用	4 条. エネルギー性能要件の設定	5 条. 新築建物	7 条. エネルギー性能の認証	8 条. ボイラー及び熱源システムの調査	9 条. 空調設備の調査	10 条. 独自の専門家	12 条. 情報
Existing SAVE projects:								
AUDITAC						X		
BUDI							X	
EEBD							X	
ENPER-EXIST	X							
EPA-NR	X							
EPLabel				X				
E-TOOL		X						
Impact				X				
STABLE							X	
TOWARDS CLASS A				X				
DATAMINE				X				
New SAVE projects:								
CHECK IT OUT!				X				
BuildingEQ				X				
IMPLEMENT								X
SENTRO			X					
BOILEFF					X			